

屋根雨漏り修理工事報告

平成14年 7 月 2日

報告：桜田板金工業所

修理前の状況

雨水が東側に多く流れていました。



修理完了状況

雨水が西側(漏って無い方)へ流れて行きます。



新規カバーの角度

雨水が西側へ落ちて流れて行きます

前回見積時から形状変更した理由

現在雨漏りしている東側へ出来るだけ雨水の量を減らす為に形状変更しました。



取付用下地取付状況

既存下地にしっかり取付ています。

上下端部の納め

樋側端部の状況

東・西が別の建物でしかも場内クレーンの影響で屋根が揺れていてこのような納めではすぐ切れてしまいます。



この端部では接続部には一切ビス止めせずに屋根側のカバー下地から延長して取付けて有ります。



最上部の状況

この部分も東西の建物が交差してコーキング納めではどうしても切れてしまう部分です
(とても複雑な納め方)



既存カバーよりシンプルに大きく囲ってあります。



大雨時に確認に伺いますが、会社でも少量の雨でも注意して確認を行って下さい。
雨漏りは古くなった建物ほど治りにくいものです。
必ず治す強い意志を持ち、絶対に諦めない事が一番重要です。